

プロジェクト名	湖岸デザインプロジェクト会議	
設置日	平成25年7月31日	
目的	<p>「美」をテーマとする一体的な活動を連続して行うことで、湖岸エリア全体を目的地化し、地域イメージの向上によって集客力を強め、にぎわいを創出する。</p> <p>また、おまつり広場からなぎさのテラスの水辺空間において、人々が水に触れ、憩いを感じ、人と自然が共生する水空間の活用方策を検討し、水空間デザイン（案）を提案する。</p>	
活動内容 (予定含む)	<p>①滋賀県立大学・成安造形大学との連携による湖岸エリアのランドスケープの検討</p> <p>②水空間の整備に関する事業計画(=水空間デザイン(案))の作成、提案</p> <p>③水空間整備にあたっての関係者との協議・調整</p> <p>④湖岸での公共空間を活用したソフト事業による賑わいの創出</p>	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	<p><input type="checkbox"/> (基本方針1) 大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化</p> <p><input type="checkbox"/> (基本方針2) 大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (基本方針3) 琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり</p> <p>【該当事業又は関連事業】</p>	
人数	6	
リーダー	秋村 洋	(株)まちづくり大津 取締役
サブリーダー	松岡 拓公雄	滋賀県立大学環境科学部 教授
プロジェクト委員	石川 亮	成安造形大学附属近江学研究所 研究員
	寺田 智次	(株)まちづくり大津 監査役
	山本 進一	(株)まちづくり大津 監査役
	竹井 信治	株式会社パルコ 大津店長
適用・特記事項	検討内容等により、随時関係者の出席や委員への参画を実施する	

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

プロジェクト会議名	湖岸デザインプロジェクト会議	
年度	活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に	中活協議会予算支出予定額・実績額内容
平成25年度 (実績)	①シンポジウムの開催（8/3）びわ湖ホール ・琵琶湖・芸術・文化-大津市湖岸エリアの将来像を考える- ・県立大学生による作品プレゼンテーション ・基調講演：伊東豊雄氏 ・パネルディスカッション ②びわ湖こどもアートセッションin大津の開催 ・こどもを対象に「つくる まなぶ ふれる」をコンセプトとしたアート体験事業を実施（※詳細は別添報告書参照） ③湖岸エリアの現状把握 ・湖岸エリアの歴史、変遷を把握 ④水辺をとらえる研究会の開催 ・勉強会 ・フィールドワーク	実績額：528,819円 内訳： ①シンポジウム開催費 200,000円 ②びわ湖こどもアートセッション開催費 250,000円 ④研究会開催費 78,819円 （資料代、貸し室代、学生交通費等）
平成26年度 (実績)	①水辺をとらえる研究会の開催 （プロジェクト会議2回 研究会5回開催） ・湖岸の活用方策の検討 ・水辺空間模型の作成 ②公開シンポジウムの開催 「大津湖岸なぎさ公園の水空間デザインを考える」 基調講演 松岡拓公雄滋賀県立大学教授 作品プレゼンテーション 滋賀県立大学 成安造形大学 ③びわ湖こどもアートセッション 2014の開催 「アートをつくる、アートをまなぶ、アートにふれる」 ＊現代作家とともにアートをつくる ＊アートにふれる	実績額：1,022,568円 内訳： ①～② 研究会開催費 164,896円 （シンポジウム開催費、資料代、学生交通費等） 模型製作費 408,672円 ③びわ湖こどもアートセッション開催費 450,000円
平成27年度 (実績)	①大津市の許認可等関係課担当職員（都市計画、景観、公園、建築確認）との円卓会議開催 ・滋賀県立琵琶湖文化館のあり方について ・同館の利活用に係る諸法令等の規制について ②大阪市大正区現地調査実施 「大正区が水辺に力を入れる理由」 説明等：筋原章博大正区長、内山泰博総務課政策プロモーション担当課長 他（大正区役所） 視察先：壁紙屋本舗、尻無川河川広場、サンセット2117 ③報告書（提案）のとりまとめ ・なぎさ公園おまつり平場～なぎさのテラスのエリアについて ・滋賀県立琵琶湖文化館について	実績額： ② 調査経費（委員旅費等） 28,840円
平成28年度 (予定)		
平成29年度 (予定)		